

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公表番号】特表2004-502470(P2004-502470A)

【公表日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-004

【出願番号】特願2001-541398(P2001-541398)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/11 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/10 3 1 0 L

A 6 1 B 5/00 1 0 1 L

A 6 1 B 5/10 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月11日(2007.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

制御信号を生成する方法であって、

人間の耳部によって生成される空気圧パターンを感知するステップであって、該空気圧パターンは該人間の自発的な肉体運動によって生じる、ステップと、

該空気圧パターンを電気出力信号に変換するステップと、

該電気出力信号から制御命令を生成するステップであって、該制御命令は該自発的な肉体運動に対応する、ステップと、

該制御命令を用いて周辺出力装置を制御するステップと

を包含する、方法。

【請求項2】

前記人間の耳部近隣に空気圧センサを配置することにより、該人間により複数の一意な自発的な肉体運動の各々と関連した空気圧パターンを感知するステップと、

該複数の一意な肉体運動の各々に対する結果の出力信号を記録するステップと、

一連の制御命令を生成するステップであって、該制御命令の各々は、該出力信号の対応する1つに対応する、ステップと

をさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

一連の所定の出力信号パターンのうちの1つに整合するものを求めて、前記電気出力信号を解析するステップをさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記自発的な肉体運動は、前記人間の舌の発声を伴わない動きである、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

人間が発声を伴わない自発的な肉体運動を行っている間の該人間の耳部によって生成される空気圧パターンを検出し、該検出された空気圧パターンに対応する電気出力信号を生成する空気圧センサと、

該空気圧センサに電気的に結合された処理回路であって、該処理回路は、該電気出力信号からパターンを識別し、該自発的な肉体運動に対応する制御命令を生成し、該制御命令は、周辺出力装置を制御するように適合されている、処理回路とを備える、制御システム。

**【請求項 6】**

前記処理回路は、複数の特定の制御命令から前記制御命令を識別する、請求項 5 に記載の制御システム。

**【請求項 7】**

前記発声を伴わない自発的な肉体運動は、前記人間の舌の発声を伴わない動きである、請求項 5 に記載の制御システム。